

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 札幌市 】

1 実践テーマ	【I、V】
2 実施対象者	札幌市立もみじの森小学校 4～6年生 190名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 道徳 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	子どもたちが、オリンピックの生き方から、夢を抱き挑戦することの大切さや、家族や仲間への感謝の気持ちを持つことが、自分の成長に欠かせないことを理解する。
5 取組内容	高学年の児童を体育館に集め、冬季オリンピックの歴史や開催地、競技内容などについて学習し、興味や関心を高めた。その後、バイアスロン競技のオリンピックによる高学年の児童を対象にした講演会を実施した。講演会では、講師自身のオリンピックやナショナルトレーニングセンターとのかかわりの中で、「夢」や「挑戦」について体験をもとに児童への期待を込めてメッセージを伝える。 ○指導計画[2時間扱い] [道徳] ・12日後に開催される平昌オリンピックについて、出場が予定されている選手とその競技について興味を持ち、知っていることを話し合う。 ・講演 「夢」を持ち「挑戦」する子ども ～オリンピックの生き方に学ぶ～ 小舘 操 様を迎えて ・DVDの映像も交えながら、子どもたちとの対話形式による講演会を行う。
6 主な成果	・バイアスロン競技について知らない児童がほとんどであったが、DVDによる競技映像の視聴を通して理解が深まった。

	・講師がご自身の生い立ちについて語ったことにより、兄弟が多い中でわがままにできなかったことや家族を大切にすることなどに共感する児童が多かった。 ・長年の競技人生の中で数度のオリンピックにおける挫折と栄光など、心が揺さぶられるお話をうかがった。講師がいくつかの挫折とそれを乗り越えようとしたことや周りの人々の支えに感謝して挑戦し続けてきたことを、児童は自分事として捉えることができた。 ・現在はナショナルトレーニングセンターにおいて若手の指導に当たる一方、日本のバイアスロン競技の普及に努めてきたという内容から、現役引退後もご自身の夢を追い続けていることに、感銘を受けた児童が特に6学年に多かった。 ・子どもたちは講師の生き方にふれることで、夢を抱き挑戦し続ける大切さを肌で感じることができた。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	取組の内容に記載した通り。
8主な課題等	・講師や競技種目を選ぶことができれば、アンケート等を通して児童の希望に合わせた講演会とすることができた。 ・日程にもう少し余裕をもち、保護者に呼び掛けて親子で考える機会にすることができればよりよかった。 ・競技用具を実際に見せたり、体験させたりすることができれば、より身近に感じることができた。
9来年度以降の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。